

環境白書の刊行にあたって



愛媛県は、世界有数の多島美が広がる瀬戸内海や、リアス海岸が続く宇和海、西日本最高峰の石鎚山など、豊かで美しい自然に恵まれており、これらの自然環境を健全な姿で次の世代に引き継いでいくことは、私たちに課せられた極めて重要な責務です。

本県では、「愛のくに ^{えがお}愛顔あふれる愛媛県」を基本理念とする第六次長期計画「愛媛の未来づくりプラン」において、環境分野の目指すべき将来像として、調和と循環により、かけがえのない環境を守る「やさしい愛顔あふれるえひめ」を掲げ、地球温暖化対策の推進や循環型社会の構築、生物多様性の保全など、SDGsの考え方も取り入れ、各種施策を展開しております。

特に、地球規模の気候変動問題は、我々が避けることができない喫緊の課題であり、昨年11月に「愛媛県地球温暖化対策推進本部」を設置し、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みに力を注いでいます。

また、プラスチックごみによる海洋汚染については、本県においても、南予地域の立入困難海岸で大量の漂着ごみが確認されるなど、深刻な状況となっており、発生抑制や回収処理に加え、海洋ごみの燃料化等を目指した一連の対策を進めているところです。

今後とも、県民の貴重な財産である自然環境を守り、全国に誇れる環境先進県の実現に努めて参りますので、皆様方の更なる御理解と御協力をお願いいたします。

この「愛媛県環境白書」を通して、皆様方の環境問題に対する関心と理解が深まり、環境の保全に向けた活動の一層の促進につながりますことを期待申し上げます。

令和5年3月

愛媛県知事 中村時広